

秋の行楽シーズン「ダニ」に注意！

やっと涼しさが顔を見せてきたこの季節、キャンプやハイキング、農作業など、山や草木の多い場所で活動する機会が多くなってきます。

野山に生息しているダニは、「つつが虫病」「日本紅斑熱」「重症熱性血小板減少症候群」「ダニ媒介脳炎」「ライム病」などの原因となる病原体を持っていることがあり、**咬まれるとダニ媒介感染症にかかる恐れがあります。**



◆ どんな病気？

つつが虫病

- 感染経路：経皮感染（病原体を持つツツガムシの幼虫に刺されることで感染）
- 潜伏期間：5～14日
- 症状：全身倦怠感、頭痛、発熱、リンパ節腫脹、発しんなど

日本紅斑熱

- 感染経路：経皮感染（病原体を持つマダニに刺されることで感染）
- 潜伏期間：2～8日
- 症状：頭痛、発熱、倦怠感、発しんなど



◇ダニ媒介感染症について詳しくはこちら <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>



◆ 群馬県内の発生状況

- つつが虫病は例年10～20例程度の報告があります。（2024年第42週現在の報告数は3件です）
- 2024年第42週に2018年以来2回目の日本紅斑熱の報告がありました。

◇群馬県の状況について詳細はこちら <https://www.pref.gunma.jp/page/663716.html>



◆ 予防方法

屋外レジャー・農作業など**外で活動する時**は、**ダニに咬まれない**よう対策をしましょう。

● 肌の露出を少なくする

→長袖・長ズボン、帽子、手袋、足を完全に覆う靴を着用し、首にはタオルなどを巻く

● ダニが入り込むような隙間を作らない

→シャツの袖は手袋の中、裾はズボンの中、ズボンの裾は靴下の中に入れる

● 防虫スプレーを使用する

● 草の上に服やタオルを置かない。また、草の上に腰をおろさない。

● 草木の多い場所で着用していた服は屋内に持ち込まない。

● 屋外活動後は、すぐに入浴し着替える。

● ダニに咬まれていないか確認をする。



◆ 症状が出たら

- 早期治療が大切です。山林・田畑・川原などに立ち入ってから1～2週間後に、発熱や発しんなどの症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。
- その際、これらの場所に立ち入ったことを医師に申し出ましょう。